平成 19 年度 教育研究業績書

氏名 吉田 光次

最終学歴	平成9年3月 京都大学大学院理学研究科物理学第二専攻博士課程修了			
取得学位	博士(理学)			
所属学会	日本物理学会			
現在の専門分野	原子核・素粒子物理学			
研究課題	有限温度・密度物質での相転移現象			

【教育上の特記事項】

教養部海外語学研修(上海:復旦大学)で羅教授とともに学生引率。

【社会的活動】

Excel入門講座(本学主催)

【学内活動】(学内職歴を含む)

学生指導委員

著書、学術論文等の名 称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名 称	概要
Phase structure of thermal QCD/QED: A gauge invariant solution of the HTL resummed improved ladder Dyson- Schwinger equation	共著	2007年11月	Proceedings of Mini-Workshop on "Strongly Coupled Quark-Gluon Plasma: SPS, RHIC and LHC"	2007年2月に行われたワークショップのプロシーディングスに掲載された。熱的QCD/QEDにおける相構造の研究成果を発表した。
Phase structure of thermal QED based on the hard thermal loop improved ladder Dyson- Schwinger equation - A "gauge invariant" solution -	共著	2008年1月		2006年11月に行われたワークショップのプロシーディングスに掲載された。WT恒等式を考慮した有限温度での相構造研究の成果を発表した。